

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第2週)

宮城県【平成26年01月16日】発行

宮城県保健環境センター

TEL (022)257-7228

- 2014.1.6 ~ 1.12 ・ 第2週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所								宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第51週	第52週	第1週	第2週
水痘	11 2.20	11 1.10	6 1.20	1 0.50	2 0.67	31 6.20	8 4.00	32 1.23	102 1.76	154	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎		3 0.30	1 0.20		4 1.33		3 1.50	11 0.42	22 0.38	33	○ →	レ →	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	66 13.20	125 12.50	43 8.60	26 13.00	62 20.67	58 11.60	14 7.00	376 14.46	770 13.28	1,068	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	1 0.20				1 0.33	1 0.20		1 0.04	4 0.07	4	→	→	→	
伝染性紅斑	1 0.20	18 1.80		1 0.50				30 1.15	50 0.86	56	○ →	○ →	レ →	○
突発性発しん	1 0.20	4 0.40	4 0.80		2 0.67	2 0.40	1 0.50	19 0.73	33 0.57	42	○ →	レ →	→	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	8 1.00	22 1.47	41 5.13	4 1.33	13 2.60	15 1.88	39 9.75	101 2.40	243 2.61	307	→	○ →	○ →	◎
咽頭結膜熱		1 0.10		1 0.50		2 0.40		11 0.42	15 0.26	19	→	→	→	
流行性角結膜炎		2 0.67						1 0.17	3 0.25	3	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12 2.40	24 2.40	6 1.20	8 4.00	1 0.33	18 3.60		52 2.00	121 2.09	143	◎ →	◎ →	レ →	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎				1 1.00	1 1.00		6 6.00	2 0.40	10 0.83	12	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	4 0.80	5 0.50		2 1.00	3 1.00	4 0.80		14 0.54	32 0.55	47	◎ →	○ →	レ →	○
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)			2		1		4	5	◎ : 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○ : 発生または流行について、今後の情報に留意 レ : 発生が少なくなっている傾向				
	川崎病								1	【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>				
	不明発疹症								4					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※							1 1.00		1 0.08	1				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第51週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は山口県(5.12)、鹿児島県(4.67)、高知県(3.92)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は70例と前週と比較して増加した。都道府県別では27都道府県から報告があり、年齢別では0歳(3例)、1~9歳(20例)、10代(2例)、20代(1例)、30代(3例)、40代(2例)、50代(1例)、60代(6例)、70代(9例)、80歳以上(23例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は4,087例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は第46週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(2.91)、島根県(2.65)、富山県(2.62)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(6.53)、北海道(5.11)、福岡県(4.80)である。**感染性胃腸炎**: 報告数は第46週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は埼玉県(34.72)、群馬県(30.02)、東京都(29.43)である。**水痘**: 報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(4.39)、富山県(3.55)、青森県(3.49)である。**手足口病**: 報告数は第45週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(3.17)、鹿児島県(2.45)、宮崎県(1.81)である。**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(1.40)、青森県(1.33)、高知県(1.00)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 2週連続で増加した。都道府県別では21都道府県から39例報告があり、年齢別では0歳(10例)、1~4歳(23例)、5~9歳(3例)、20代(1例)、70歳以上(2例)であった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。( )内の数字は定点当たり報告数となります。

## 今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名  
石巻管内 女性2名  
仙台管内 男性1名、女性2名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: レジオネラ症

仙南管内 女性1名  
仙台管内 男性1名  
5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症  
仙南管内 ※女児1名  
仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 4例

## 今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[感染性胃腸炎]

登米管内で警報値を超えた。

[水痘]

石巻、気仙沼管内で注意報値を超えた。

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より

気仙沼管内 2週採取分 ノロウイルスG II 2件  
栗原管内 2週採取分 ノロウイルスG II 4件

～仙台医療センターウイルスセンター～

第52週採取分 第1週採取分 第2週採取分  
(12.23~12.29) (12.30~1.5) (1.6~1.12)  
RSウイルス 1件 0件 0件

[感染性胃腸炎]

2013年第52週以降、一旦警報・注意報値を下回ったが、今週登米管内で再び警報値を超えた。2014年に入ってもノロウイルスが原因の集団発生事例が報告されているので、引き続き注意を要する。

[インフルエンザ]

県全域で増加し、特に気仙沼管内で多い。注意を要する